

■日程 10月21日(火)

■場所 安房東中学校体育館

質問	回答者	回答
1【天津小湊観光会館の使用について】 天津小湊観光会館をこの後ずっと使用してよいものか伺いたい。鴨川の本部では、天津小湊観光会館を全部市に戻して、プラットフォームと一緒にして人件費を少し節約してほしいという考えがあると聞いた。天津小湊観光会館がなくなってしまうと天津小湊地区の観光に対しては非常に不利になるのではないかと思う。現在、実際に自転車の貸し出しや観光案内などをやっているため、その点を踏まえて市側で「やめてほしい」と言うのか「使用していても問題ない」と言っていただけるのかを伺いたい。	商工観光課長	天津小湊観光会館については、市と観光協会で話している中で、そういった情報を掴んでいますが、今のところ、観光会館が閉鎖する、しないという意見が半々に分かれていると聞いています。そのような中で市も判断ができないので、今後関係する皆様を集めた中で一緒に考えていきたいと思います。あの立地は、観光協会の事務所があるのは大変良い場所だと考えています。今後観光協会の会員の皆様が納得する方向性を見出して廃止する、廃止しないを考えていきたいと思います。
	副市長	観光会館については、実態として観光協会の天津小湊支部の事務所としてお使いいただいていることと、市としては公の施設、行政として必要ということで設置しています。観光協会を指定管理者として管理していただいている状況であるため、まず施設が必要かどうかは、公共施設としての判断というものをさせていただきたいと思います。観光協会の中のさまざまな取り組みの中で、事務所の機能としてお使いになる、ならないという判断もあるかと思いますが、そういった部分はしっかりと連携をしながら考え、またご相談や、ご協力をさせていただければと思います。
2【ごみ袋の規格の検討、ペットボトルのフタの回収について】 ごみ袋の規格を再検討してもらいたい。現在、市のごみ袋は、燃やせるごみが45lと20l、資源ごみが45lと20l、燃やせないごみが20lの5種類、指定されている。要望は、燃やせるごみ用の30l、燃やせないごみ用の10lまたは5lのごみ袋を作っていただきたいというものの。燃えるごみの袋に関しては、証紙付きで、45lが1枚に付き50円。20リットルが20円。そうなると10枚でそれぞれ500円と200円が市のお金になる。それをもう少し値上げをしたらどうか。燃やせるごみ用の30lを作れば、また300円や350円、ほんのわずかだが財政難の足しになるのではないか。 ペットボトルのフタについて、個別で収集しているところもあるが、それも市で収集はどうか。	清掃センター長	ごみの袋について、合併前に天津小湊町で10lの小さい袋がありましたが、合併後に現在の規格になりました。現在、鴨川市には焼却場がないため、処理を外部に委託しています。資料にも記載があるとおり、1t当たり約39,500円という大金がかかっているため、値上げを検討しており、今後、ごみ袋の規格の件も一緒に考えられると思っています。また、ペットボトルのフタの回収については、市や関係機関に回収する場所を設置し、なるべく燃えるごみには出さないように処理をしています。市がフタを収集するということが可能なのか分かりませんが、難しいところがあるため、検討をさせていただきたいと思います。
3【市政情報コーナーに設置している情報について】 市役所1階の市政情報コーナーに、亀田元市長のものが置いてあり、最近のものが見当たらなかった。最新の資料を市政情報コーナーに置いてほしい。	企画総務部長	市政情報コーナーについては、市政をより深くご理解いただくため市役所の1階ロビーに設置しており、統計書や予算書、各種報告書や計画書、市議会や審議会等の会議録なども閲覧することができます。先日、市政情報コーナーの状況を確認したところ、最新の情報を備えているものの、かなり昔の資料も数多く設置されていたことから、先日整理をさせていただきました。行き届かない点があり、お詫び申し上げます。今後は定期的に確認を行い、市民の皆様が利用しやすいコーナーとなるよう努めてまいります。

	質問	回答者	回答
4	<p>【小学校の統合、中学校の学区による部活動について】</p> <p>資料の中に「小学校の適正配置に向けた施設整備の方向性の検討」とある。小学校の統合はやらないという議会の討論を聞いた覚えがあるが、検討するということでおいか。田原小学校などの少人数制の学校に関しての適正配置は今後5か年計画に入ってくるのか。</p> <p>また、資料には中学校のことは一切書かれていない。以前から中学校の部活のことを話していて、選べることも不可能ではないと思っている。</p> <p>今、スポーツ少年団は鴨川市全体が一つになっている。中学の少ない人数で、鋸南と合同チームとなったことで、強くなつて準優勝した。結果は良いのかもしれないが、毎週鋸南に行くことになり、端(安房東)から端(鋸南)まで親が送迎するのは大変。その中でも頑張って活躍している子は多いが、例えば安房東中にはない部活の子たちは他の学区の中学校に行くことができるが、それもどうなのか。安房東にサッカーチームはないから他学区のサッカーチームに入る、バスケット部はあるから他学区のバスケット部には入れない。そういう位置付けは勝手に大人が考えることであつて、学区は完全に禁止にはされてないのに、部活だけ左右されるのはかわいそうだと思う。</p> <p>子どもたちは今、与えられた環境の中で一生懸命やっている。今後、これから幼稚園、小学校に上がって、中学校を選ぶ時に学区の問題は必ずネックになってくる。大人の1年と子どもの1年は違うと思うので、中学の統合まではいかないにしても、そういう学区のことをもう少し考えてほしい。</p>	学校教育課長	<p>子どもたちの小学校の環境については、検討委員会があり、答申があったところです。子どもたちの少子化の推移が思っていたよりもかなり早く進行していることもあり、また財政面のことなどもあるので、この5か年計画の中で小・中学校を含めた、市全体のロードマップを作っています。それをこれからお示ししていく予定です。中学校の部活動の環境についても検討していかなければなりません。先ほどのロードマップにも関係してきますが、今安房東中学校の部活動は学区単位での運営が困難であつたり、選択肢が少なかつたり、いろいろな困難な条件の中でも子どもたちが健気に一生懸命頑張っている姿も見ているので、こういったことを一步進めるべく今一生懸命ロードマップを作成中であるので、少しお待ちいただけたらと思っています。</p>
		教育長	<p>統合についてご心配をかけてしまい、大変申し訳なく思っています。小学校だけではなく、市内の出生数は、昨年で127人。単純に小学校でいえば、3クラスで十分という、本当に少ない出生数となっています。</p> <p>中学校に関しては、部活の問題が数年前から上がつてきていることは承知しています。部活だけではなく授業もあり、学校としてのさまざまな取り組みが子どもたちにとってどういうものが適正なのかということを十分に教育委員会として精査しているところです。今年度中に、小学校、中学校の10年後、20年後を見通してロードマップを作成して案を示すということで進んでいます。中学校は今までには統合の案が出ていませんでした、これも計画の中に載せて、できあがった時点では、もちろん強引に進めることではなく、あくまでも案として示し、皆さんのご意見聞きながら進めさせていただきたいと思います。</p>
5	<p>【給食費無償化の実施について】</p> <p>令和8年の給食費無償化について、全国で実施予定と資料に書いてあるが、この費用は国から全額補助されて行うものか。市の負担で実施するのであれば難しいと思うがいかがか。</p>	学校教育課長	<p>給食について、国の方で令和8年度から無償化するとしていましたが、その後、明確には出ていません。最近の報道によると、11月に国の給食費無償化についての方向性を示すというように聞いています。それを受けて、これから県と国との動向を見ていかなければならぬと思っています。国が全額出すのか、あるいは半分出してくれるのか、県がまた3分1出すのか、といったこともこれからあると思いますが、それを踏まえてから、市の方で進めていく形となります。</p>
		市長	<p>給食費について、本来であれば令和8年度からということではありましたかが、参議院選挙があり、まだ指針が示されていないような状況です。給食費というのは全国一律ではなく、高いところもあれば安いところもあります。これを国で安いところに合わせさせてその金額で固定されてしまうと、その差額は自治体が払わなくてはならない、ということにもなりかねません。今の鴨川市の財政状況を見るとその分負担しろと言われてもなかなか難しい中、国の動向を見ながら判断していきたいと思います。</p>
	《引き続き》 これから子育てをしていく小学校の低学年や幼稚園の子たちの保護者に、ぜひともヒアリングしていただけたらと思う。今の子たち、これから子育てをここでしていくという方々のニーズについて、アンケートでもなんでもいいが、聞いていただきたい。	教育長	参考にして進めたいと思います。

質問	回答者	回答
6 【テニスコートを使用した練習環境の平等性について】 安房東中のテニスコートは「クレイコート」という泥のコートで、雨が降り、雨が上がってもすぐに練習ができない。娘が県大会に出場した際、試合会場は「オムニコート」という人工芝に砂を敷きつめた固いコートで、ボールの跳ね方が全然違ってしまうらしく、うまく対応できず困っている。安房東中のテニスコートをオムニコートに直してほしいというのではなく、鴨川中学校はオムニコートなので、安房東中と長狭学園の子どもたちもオムニコートで練習できる環境を考えてほしい。オムニコートに慣れておく必要があるので、個人的に一戦場公園のテニスコートを借りて練習したりもした。同じ鴨川市の子どもなのに、鴨川中の子は毎回オムニコートで練習できて、安房東中の子はお金を払ってコートを借りなければ試合と同じコートを使って練習することができないのは不公平と感じる。 安房東の部活動については、何年も前からいろんな問題が市民懇談会で取り上げられている。オムニコートがいいから鴨川中に通いたくても、安房東中にはテニス部があるので鴨川中に通えない。子どもたちの教育環境に不公平が出ないように考えてあげてほしい。すぐに回答いただくのは難しいと分かっている。早く検討していただき、よい練習環境を平等に与えていただきたい。	学校教育課長	テニスコートのオムニコートとクレイコートについて、そういった苦労をしていたことや、苦労の中で一生懸命他のところでお金を払いながら練習をしてきたということを知り、申し訳なく思っています。鴨川中学校がクレイコートということで、ご提案いただいたように、土・日曜日の鴨川中が使っていない時間にやらせていただく、または合同練習をするなど、そういったことが可能かどうか、鴨川中学校との検討になるとは思いますが、より良い練習環境が整うように努力してまいります。鴨川中学校のことなので即答はできませんが、できるかどうか検討してまいります。
7 【中学校の部活動について】 何年も前からこういう話しているという中で、きちんと行政が対策をしていかなくてはいけないのではないか。中学生の部活はすごい大事だと思う。これから高校、大学に行き運動部をやる方もいると思う。教育委員会は、「不公平だ」と親が見過ごすのではなく、なんとか公平にしてやるんだという考えがここで出てこないと意味がないと思う。もっと誠実に扱ってもらいたい。	教育長	自分自身も高校、大学と一つのあるスポーツを一生懸命やってきて、そこで学んだことがあります。中学校でも部活をやっていたので部活の大切さは自分なりにはよく承知しています。先ほど、安房東の部活がほかの学区の中学校に行けないということについては、教育委員会としても今までの規則があり、それに則って対応しているところです。規則は子どもや保護者のためにあるものなので、そういうご意見を聞いた上で、変えるべきところは変えていけるかなと思っています。 また、3つの中学校的ソフトテニスのコートが、クレイコートとオムニコートで、学校間で違うのはいかがなものか、というようなご指摘について、同じ条件で整えるのは本来教育委員会の務めだとは十分に認識しており、その点については大変申し訳ないと思っています。素晴らしいお子さんの活躍は、あと1年の間に試合会場と同じオムニコートで普段練習していれば当然実力も練習通り発揮できると思います。できるだけその願いが叶うように調整を図っていきたいので、今しばらくお待ちいただければと思います。
8 【市の財政状況について】 経常収支比率の102.2%という数字がどのような意味があるのか教えていただきたい。例えば会社だと2期に赤字だと注意をされ、3期だとまずお金は貸してくれない。3期が限度で、それ以上になると返済する状態。現在102.2%。令和7年度はもう半年を過ぎ、残りわずか。これをどのようにして、赤字からの脱出をするのか。状況をもうちょっと詳しくお話ししていただければ大変安心する。	財政課長	市の決算は、1年間の行政運営の結果であり、令和5年度、6年度ともそれぞれの年度の結果です。本来、経常収支比率が100%を超過した時点で対策をいかなければなりませんが、令和5年度決算の結果が分かった時点で令和6年度の予算は執行中で、予算を定めてしまったから何もできないということではありませんが、大きくは動きません。令和6年度決算の経常収支比率が分かった時点も同様で、令和7年度の予算は執行中となっています。そのような中で緊急にできることとして、職員の人事費を一時的に一部我慢をしたり、市長・副市長・教育長の給料をカットしたりしているような状況にあります。ただし、2年続いてしまったことは、本当に危機的な状況と判断しているところで、経常収支を改善するための緊急対策に取り組んでいます。市の経常的な事務事業を全て総点検し、無駄があるものについては、改めて今まで以上の考え方で見直しをし、すぐには成果が出てこないような取り組みについては、プロジェクトチームを作って緊急対策に乗り出しています。ただし、経常収支比率の予測というのは非常に難しく、毎年度経常的に入ってくるお金は、実は国の制度の動向によって左右する部分もあります。この令和7年度の決算がいかよくなるかというのは、国の今後の経済対策等によって変動していく要素があり、難しい。ただ、令和7年度の決算では、職員の給与抑制や、経常経費の削減対策も行っているので、その点では改善に向かっていると思います。令和8年度の決算で100%超過が継続するということのないよう、現在行っている取り組みは強力に推進していきたいと思います。

質問	回答者	回答
『引き続き』 市長、副市長の給料の減額をされているそうで、大変な状況だと思う。そういう状況になってしまったことは致し方がないので、これからどのようにしてやるかということがこの資料に具体的な数字が示されていなかったので、大丈夫かなと感じた。本当はもう半年過ぎているので、会社では月次決算をやり、必ず1か月1回の決算をやる。そして今月は今年の決算を推測する一つの基準となる。市でもそれらの決算を踏まえて月次あるいは2か月、3か月後でも構わないが、そういう調査、あるいは計算していると思うが、その辺をお話していただければ。	財政課長	市役所というところは非常に難しい部分があり、予算というものの立て方については、前年に策定をして、そこから事業を計画して実施していきます。市議会で予算を通していただいた後、例えば入札工事、工事の執行、そのような中で事業費が大きく動いていく部分があり、もちろん毎月定例の業務をやっているところについてはある程度数字というのが考えられることができるような形にはなっていますが、それ以外の事業と呼ばれる部分については、年間で大きなサイクルで動いていくという部分があります。月ごとのサイクルで回っている事業については、抑えられる部分についてはしっかりと管理させていただいている一方で、大きな事業の収支については、月ごとに追って行ってもどうしてもお金の動きが年度の後半、あるいは出納整理期間に集中してくる部分もあります。 また、市税の収入等についても、収入の時期がバラバラになっている部分があり、年間を通じた予測をあらかじめ示すというのは、法的な部分で若干難しい部分もあるため、ご理解いただければと思います。
『引き続き』 確かにいろんな条件があると思うが、千葉県内の市町村は全て同じような条件だと思う。鴨川市だけがこのような悪い条件ではなかったと思う。千葉県中がみんな同じ条件で市や町を運営し町を運営しているわけだから。その辺の説明がちょっとどうかな、と思った。	財政課長	この経常経費の問題については、市としても、ある程度厳しい状況となることは事前に予測していました。ごみ処理の経費について、市の処理施設の稼働を停止して新たに6市1町の広域ごみ処理計画に参画したところですが、その間、一時的に、全てのごみを民間の廃棄物処理事業者に委託処理することとなり、ごみ処理経費が一時的に高騰しているという状況にあります。この間の経常経費がどうしても高騰するというのは想定していたところで、強い鴨川づくりに向けた財政等適正化基本方針における財政推計の中でも、このごみ処理経費の増加は見込んでいたところですが、それ以外のさまざまな要因、特に地方公務員の定年延長等の法制度改正など、想定以上に経常経費が減らないというようなことがあります、今非常に厳しい状況になっています。このため、緊急的に経常収支を改善させるため取り組んでいるところです。
9 【メガソーラー事業について】 報道でメガソーラーの森林伐採を見たときに自然が破壊されていると感じた。市長の意見をお伺いしたい。	市長	メガソーラー事業については、県が林地開発の許可したということで、市としても、事業を安全に行なうため5項目の協定を結んでいます。地域全体、鴨川市全体で説明会をやってほしいと、現在相手方の事業者に対して、調停をしているような状況です。熊谷知事にも直接お会いをして、こういったようなことで困っているという話をしているが、読売新聞で出た記事によると、県の方では指導をしており、事業者も指導に従っているということで、今後も国の法令に基づいて適切に対処していく、という話をしていました。皆さんがいろいろ県にもお話をいただいた関係で、協議会も立ち上がりました。今後も県との連携を図りながら、皆さんが心配に思っていることをしっかりと事業者の方に指導していきたいと思っています。
10 【避難タワーについて】 9月に行われた避難訓練で津波避難タワーに大きなハチの巣があり、登ることができなかつたが、その後、ハチの巣はどうなったか。また、ニュースで他市の避難タワーがサビ等で劣化し、10年で使えなくなったことを知った。さとうみ学校にある避難タワーも海の近くで、完成してから7年以上経つと思うが、劣化の心配はないのか。	危機管理課長	ハチの巣については、現在撤去しています。ご迷惑をおかけし申し訳ありません。サビについては、先月点検をした結果、塗装部分に目視できますが、本体部分については若干のサビがある程度であることを確認しました。今後も定期的に点検して、状況や必要に応じてメンテナンスをしていきたいと思います。

	質問	回答者	回答
11	【議員定数の削減について】 昨年の地区別懇談会で、鴨川市の財政状況を鑑みて、市議会議員の議員定数を減らしたらどうかという意見をした者。その後気になっていたが、先日新聞で18名が16名になりそうとの報道を見て、迅速な対応に驚いている。これはどのような流れで決まったのかご説明いただければ。	議会事務局長 市議会議員 鈴木美一氏	昨年度の地区別懇談会でご質問されたということで承知しております。議員定数については、人口減少や市の財政状況等を鑑み、また地区別懇談会等でも意見があつたということで、この5月に議員定数等に関する調査特別委員会というものを議長、副議長を除いた全議員の方で組織しました。現在の議員定数が適正であるかを調査・検討していくものです。人口の近い自治体の状況を調べたほか、8月15日～9月16日に行った住民アンケート結果、あとは定数を実際に減らした市議会、定数を減らせなかつた町議会に視察研修をさせていただき、総合的に判断しました。10月3日に行われた特別委員会で、現在の18人から次の選挙で16人にする方向性で委員会として決定をさせていただきました。時期的に短い形で議員の方で調整ましたが、市の財政状況などを鑑み、早く決めようとしたものです。今後報酬の関係や3つの常任委員会をどうするなどが検討として上がっています。委員会の方針としては、来年の5月31日が今の議員の任期となります。次の選挙で18人から16人に減らした方向でやっていく状況となります。
			18人から16人に減らすという決定は市議会で決めました。なぜ正・副議長を除いたかは、議長から議員の定数等を検討してもらいたいという諮問があつたためです。これで全て決定ではなく、条例の改正をしなくてはならず、12月か来年3月の議会で条例を改正し、議会で可決して決定ということになります。
12	【過疎対策事業債の使い道について】 鴨川市と天津小湊町が合併してから20年経った。その間の合併特例債の使い道を見てみると、天津小湊地域に使われたというのがほぼ無く、ほとんど天津小湊ではない全体に使われたという感じを受ける。対等合併したものなので、できれば天津小湊に半分ぐらい使ってほしかった。 天津小湊には過疎地域債というのがあると聞き、これからも使えるということなので、ぜひ天津小湊地域に使っていろんな事業を期待している。小湊地区の小湊さとうみ学校を中心に過疎地域債が使われていくと理解しているが、予算の使われ方が天津には手薄な様な気がしている。ぜひこの天津地域または浜萩・清澄・四方木地域にも過疎地域債というのを積極的に充てていただきたい。これから何かそういうことを行う予定、考えていることがあれば教えていただきたい。また、もし我々がこういうのに使いたい、使ってほしいというような希望があった場合、どういうものが反映される仕組みになっているのか聞きたい。	企画政策課長	過疎対策事業債については、過疎地域持続的発展計画という計画に位置づけることが必要になり、現状その計画が令和3年度から7年度までの計画となっています。令和3年度から令和6年度までの実績については、原則としてはハード事業が対象となります。漁港の整備や小・中学校の施設改修といったものに活用しました。 地方債は原則ハード事業ですが、過疎債の場合には特別事業としてソフト事業にも充てることが可能となっており、小湊さとうみ学校の備品購入や管理運営費、小・中学校のタブレット機器等の導入、地区集会設置事業補助、生活用水確保対策事業補助、花壇の維持管理事業、海水浴場の運営などにも活用してきた実績があります。現在令和8年度からの新たな計画の策定作業を、新たな5か年計画とともに並行して進めている状況で、基本的には、今申し上げた事業を継続的に実施し、それに過疎債を活用していくというのが基本になります。 住民皆さんの意見を反映して活用先を決めては、というご意見については、昨年度の天津と小湊地区でも特別懇談会を開催しており、その中で、例えば天津地区の街路灯の維持管理経費の増工に対する支援、清澄や四方木地区では自然の活用、小湊地区では小湊さとうみ学校の活用と中学校跡地の一体整備などについてもご意見・ご要望をいただいたところです。継続事業とこういったご要望をいただいた事業について、過疎計画への位置づけ、過疎債の活用を検討している状況です。
13	【メガソーラー事業の財政的なメリットについて】 何年も前から、鴨川の山と川と海を守る会で、署名をしたり、集会をしたりして反対をしていると思う。それでもなかなか通じず、とうとう工事が始まってしまった。メガソーラーができて、鴨川市にとって自然環境とか海の問題とかどういう影響があるのか。影響が出てからだとどうしようもない。メガソーラーには反対だが、工事が進んでしまってから撤退、やめるというのは無理ではないかと諦めている。メガソーラーを鴨川市で設置した場合、財政の困難な鴨川市にとって財政的にメリットがあるのか。	副市長	メガソーラーの財政効果について、具体的な運営がどうなるか明確なところがまだありませんが、一つは、今回パネルを設置することにより、固定資産税が収入されます。また、事業者が鴨川市に本社を置いているため、この法人市民税と、雇用が生まれた場合の住民税、これらが具体的な効果としてはあろうかと思われます。実際に税収が増えたときには、地方交付税が減ることになります。そのため、税収増がそのまま財政効果というわけではなく、そのうち4分の1程度が本市の財政的効果になってくるかと思います。具体的な金額についてはまだ算定ができておりませんが、ご容赦いただきたいと思います。

質問	回答者	回答
14【市民会館・市民ギャラリーについて】 市民会館と市民ギャラリーがなくなり、それから何年も経っているが、特に市民ギャラリーがなくなってとても残念だなと思っている。作品を展示したり、皆さんの文化的な活動を見てもらったりということができなくなってしまった。何年か前に意見を出した際、作品は市民ギャラリーがなくなっても郷土資料館があるじゃないかという回答だった。今のところ、展覧会などは郷土資料館で展示させてもらっているが、ギャラリーと郷土資料館では何か違う。何が違うかは分からぬが、郷土資料館というのは何となく博物館的なニュアンスがあり、ギャラリーは美術的な作品を展示することが多いと思う。今後どういう風になるのか。	生涯学習課長	市民会館は今解体となっており、市民会館での発表の場がなくなってしまった団体については、館山の南総文化ホールや近隣の施設をご利用になつた際、諸条件はあります が、利用料金の2分の1、20万円を限度に補助をさせていただいています。鴨川市での発表は叶いませんが、せめて補助金で発表などを手伝いさせていただく形で取り組んでいます。 市民ギャラリーは、令和2年4月1日から休館となっています。その中に長谷川昂先生の大型彫刻や大型絵画が保管されており、先生の展示が皆さんに見ていただけないこと、展示の発表が少なくなってしまったことを心苦しく思っております。大型の彫刻を運ぶことができないか確認したが、見積もりをするにも専門業者に来てもらうためお金がかかり、仮に業者に頼んで運ぶ場合にも相当なお金がかかることが予想されます。その市民ギャラリーの代わりとして、文化財センターや郷土資料館の展示室をご利用いただいており、皆さんにも作品を置いていただいている。この展示室はもともと文化財センターで、発掘された土器などを展示していたガラス張りの施設となります。展示するものによっては、明るすぎて合わないところもありますが、刀剣などの展示には適しているといった評価もあります。ご批判をいただいていること、あるいはここで仕方がないというお話をもいただいていますが、現状、この文化財センターと資料館を無料でお使いいただくことで、これからも皆さんの芸術発表の場をお手伝いしていきたいと思っています。
15【天津小湊公民館のエアコンについて】 天津小湊公民館は空調が悪く、エアコンが使えず、館長からは、夏に使う場合は熱くて体調を壊すので、天津小学校か安房東中学校の教室を借りて使うよう声かけをいただいた。学校まで行って活動することが不便だったので、借りなかった。今天津小湊公民館は、エアコンをきちんと使える部屋がないとのこと。夏の場合は特に暑くて、室内で活動するには危険だと思う。	生涯学習課長	天津小湊公民館のエアコンについては、冷気が出る場所と出ない場所はあるものの、実際に触って吹き出し口から冷気が出ることを確認しました。たまに、調子が悪いことはあります、その都度、業者に見てもらいながらやっていきたいと思います。実際、本格的に直せるかどうかはしっかりと確認しなければなりませんが、隣にふるさとシアターがあり、そのエアコンを直すことが可能かどうかを検討してまいります。階段を上らないと行けませんが、ふるさとシアターは公民館と近く、安房東中や天津小湊小学校よりも活用しやすいのではと考えています。検討しながら最善の方法を探ってまいります。
16【旧小湊小学校の跡地活用について】 市長が変わり、新体制で次の過疎計画について話されている中、廃校や廃園についても計画されていると思う。小湊さとうみ学校は旧小湊小学校の跡地活用ということで作られたが、まだ中学校と幼稚園、こども園の跡地がそのままになっている状態。その跡地活用について市長は確実に進めさせていただけるのか。	市長	先ほど担当課長から話があったとおり、過疎計画は今年度末をもって終了となります、令和8年度から法律の期限である令和12年度までの計画期間をもって、次期総合計画の策定に合わせて、新たな過疎計画の策定を進めていきたいと思います。 また旧小湊小学校と旧小湊中学校の土地の有効活用もしっかりと図り、地域の活性化につなげてまいります。跡地活用についても皆さんのご協力が必要であると思うので、ぜひともご協力いただきながらしっかりと進めていきたいと思います。

質問	回答者	回答
<p>《引き続き》</p> <p>今「みんなで作るさとうみ学校の会」というものを作っており、担当課で継続事業として次期の過疎債に向けてどういったものを作つたらいいか協議している途中である。さとうみ学校の機能強化として、中学校、幼稚園、子ども園の跡地を強化していいのを作り上げていきたい。地域の中心となるよう、より多く過疎対策事業債が合併特例債よりもいい補助金だということ、使えるものは使って、よりよい物はより良くして、そこで稼げる場所を作つて、稼いでいきたいと思っている。</p> <p>小湊スポーツ館も今は社会体育施設になつており、さとうみ学校に来た市外の子どもたち、市内の人しか使えないということが条例的なもので決まつていてるという話を聞いている。壁や柵が落ちて、サビが散らばつてゐる状態で、市内の子どもたちはもちろん、県外から来られた方たちが、ここ(さとうみ学校)にはきれいな芝があるのに、ここ(小湊スポーツ館)から先は立ち入り禁止とある状態はどうかなと思う。今さとうみ学校にいろんな子どもたちが合宿に來つて、ある程度稼げる施設に生まれ変わろうとしているので、ニーズがあるうちに、スピード感を持つて進めていってもらいたい。</p>	市長	過疎債については、私も、有効な財源の一つだと思っています。また、さとうみ学校は、地域の中心となる施設だと思っています。ぜひとも地域と協力しながらしっかりと前へ進めて、稼ぐ自治体の転換を図つていただきたいと思います。
17 【防犯灯について】 4月から町内会長になった。私たちの町内の集会所は少し高台にあり、大体夜に集会を行うので、階段を上るときは真っ暗闇の中、懐中電灯を照らしながら上つていて。防犯灯は立つてゐるが、明かりが反対側の更地になつてゐる方を照らしてはいたので、階段の方を照らしてくださいと言うと、すぐその方向に向けてくれた。危機管理課の方に感謝申し上げる。	危機管理課長	(ご意見として伺う)
18 【防災行政無線について】 山のすぐ下にある防災行政無線が、木々が生い茂つてしまつて、7月30日の津波警報も聞こえなかつた。7月29日に危機管理課の方に来ていただき、9月4日に着工しますと言われ、津波警報が出たのは次の日だったので聞こえないと言えなかつた。9月4日に電波の取れるところにポールを立ててアンテナをつけてもらったことで明瞭に聞こえるようになり、町内の方からも、聞こえるようになりましたという声が届いてゐる。感謝申し上げる。	危機管理課長	(ご意見として伺う)
19 【集会所について】 私たちの集会所も30数年経つてしまい、かなり老朽化しているが、町内会の財政も逼迫していて、修繕費が150万かかると言われたが、今やるしかないと思ったので市に相談したら60万の補助金をいただけるようになった。市民生活課の方にも御礼を申し上げたい。	市民生活課長	(ご意見として伺う)